

7月 学校説明会 2017

全体会資料

平成 29(2017) 年 7 月 22 日(土)
京都市立堀川高等学校 講堂(本館5階)

- 9:30~10:00 北区・上京区・中京区・下京区・左京区・東山区・右京区の京都市立中学校在学の方とその保護者
- 10:35~11:05 南区・山科区・西京区・伏見区の京都市中学校および乙訓地域の公立中学校在学の方とその保護者
- 11:40~12:10 京都市内・乙訓地域以外の府内公立中学校および国立・私立中学校在学の方とその保護者

堀川高校へようこそ。全体会は下記のとおり進行いたします。

- ・ 学校長あいさつ
- ・ 平成30年度選抜概要
- ・ 生徒による学校生活の紹介 (本校1・2年生)

本日の配付資料

1. 全体会資料 (この資料です)
2. 学校案内パンフレット2018
3. 探究基礎紹介資料
 - ・ 探究魂 (vol.1, vol.2)
 - ・ 探究の海図 2015.3.31 (探究魂特別号)
 - ・ 「18期生 探究基礎研究発表会」開催のお知らせ
4. 冊子「探究学科群学力検査問題・小論文 平成29年度選抜」
5. 選抜に関する資料
 - ・ 平成30年度選抜概要および学習アドバイス (スライド) 資料
6. 学校説明会「フロアガイド」 (全体会以外の内容についてご案内する資料です)

* その他、アンケート用紙、堀川うちわが同封されています。

* 資料4はご家族に1冊ずつ配付させていただきます。

- ◆ 11月11日(土)には「探究科進学説明会 (中3対象)」, 「学校説明会 (中2以下対象)」を開催いたします。詳細については中学校を通じてご案内いたしますので、是非ご参加ください。
- ◆ お手数ですが、同封のアンケート用紙をご記入の上、お帰りの際に1階アトリウムにて、生徒スタッフにお渡しください。

文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 研究指定校

文部科学省 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 研究指定校

立志 勗励 自主 友愛



京都市立堀川高等学校

Kyoto Municipal Horikawa High School ~ established in 1908

ようこそ THE NEST OF YOUTH へ



堀川高校では、校訓「立志・勉勵・自主・友愛」に基づいて「自立する18歳」の育成を図るための豊かな学校を構築することを最高目標としています。みなさんの大切な高校の3年間で真に充実した時になるよう、心をこめて支援します。日々の学習活動、ホームルーム活動、部活動、各種委員会活動など、生徒相互の交流や教職員との交流を通して自己を磨き、未来について考え、自己実現を図るための堀川高校での3年間。そのなかで将来の目標と展望を明確に示す力を備え、未来を切り拓くたくましい創造力と豊かな人間性を身につけた若者に成長し、人類の幸福と社会の進歩に貢献してほしいと考えています。

1. 平成30年度選抜概要

学科	普通科(人文探究コース・理数探究コース)	探究学科群(人間探究科・自然探究科)
募集定員	80名	160名
通学区域	京都市・乙訓地域	京都府内全域
前期選抜	24名(募集定員の30%) A方式(共通学力検査・報告書・面接)	160名(募集定員の100%) A方式(報告書・独自学力検査・小論文)
中期選抜	56名(募集定員の70%) 報告書・共通学力検査	

意欲を持って主体的に学ぼうとする生徒、自らの興味や関心を生かして幅広く学び、問題意識を掘り下げて解決していかうとする姿勢のある生徒を求めています。

入学者選抜の詳細は、中学校に詳しくお伝えします。中学校の先生と十分にご相談ください。

(1) 普通科 選抜概要

■ 前期選抜 (募集定員 24名)

探究活動を進めるための「基礎的・基本的な知識」とその「活用能力」を確認します。また、自分の考えや意見をまとめて論理的に表現する力を確認します。

「基礎的・基本的な知識」とは国語・数学・英語の学力、
「活用能力」とは知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な力を指します。

◇ 検査内容

学力検査 共通学力検査「国語」「数学」「英語」
面接 グループ面接

◇ 配点

報告書 (135) 各教科5点×9教科×3学年分、
共通学力検査 (150)、面接 (50)

■ 中期選抜 (募集定員 56名)

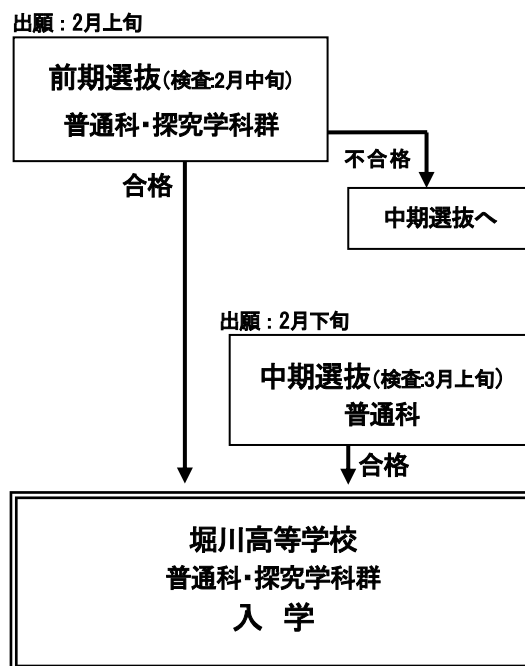
◇ 検査内容

学力検査 共通学力検査「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」

◇ 配点

報告書 (195)、共通学力検査 (200)

※中期選抜は、京都市・乙訓地域の共通方式で実施します。概要は教育委員会発行の、平成30年度京都府公立学校入学者選抜概要(9月上旬発行予定)をご覧ください。



(2) 探究学科群 選抜概要

■前期選抜（募集定員 160名）

探究活動を進めるための「幅広い言語能力」とその「活用能力」を確認します。また、自分の考えをまとめて論理的に表現する力を確認します。

「幅広い言語能力」とは、日本語や英語で表現されたもの、あるいは数学的に表現されたものを適切に受けとる力、日本語・英語・数学を用いて適切に表現する力、問われた内容に対して妥当な答えを導き出すために推論する力を意味します。また、「発想力、分析力、課題解決能力」とは、資料等の活用能力や事象を多面的・多角的・批判的に考察し判断する能力および科学的にものごとを見て考える力を意味します。

◇検査内容

学力検査 独自学力検査「英語」「国語」「数学」「人文・社会科学」「自然科学」
※「英語」の検査にはリスニング問題を含みます。

小論文 1題

◇配点

報告書（100）、独自学力検査（400）、小論文（25）

報告書：各教科5点×9教科×3学年分=135点を100点に換算

独自学力検査：「英語」「国語」「数学」各100点、「人文・社会科学」「自然科学」各50点

2. 独自問題による検査の内容

(1) 面接 <普通科>

検査時間：約30分

グループ(6人程度)面接形式で行います。提示された課題について各自が案を出し合い、協力し合って考えを一つにまとめることで、コミュニケーション能力や表現力、協働する力などを確認します。なお、課題は8月以降に中学校を通してお伝えするとともに、本校ホームページにて公表します。

(2) 独自学力検査 <探究学科群>

検査1～5共通：中学校の学習範囲で解答できることを基本に、学習事項および発達段階から考えて応用的に解答できると想定されることも出題します。検査の順序、検査時間および内容は以下の通りです。

検査1<英語> 検査時間：50分

英文の正確な意味や全体の流れを理解する力と受けとった情報をもとに適切に表現する力を確認します。

検査2<国語> 検査時間：50分

言葉を通じて正確に読みとる読解力と筋道の通った言葉で表現する記述力を確認します。

検査3<数学> 検査時間：50分

筋道を立てて考える力とその一連の過程を確実に処理する力を確認します。

検査4<人文・社会科学> 検査時間：40分

日本や世界の出来事を題材に、資料を通して多角的に考える力を確認します。

検査5<自然科学> 検査時間：40分

知識や経験を生かした柔軟な発想をもとに、科学的に考える力を確認します。

(3) 小論文 <探究学科群> 検査時間：40分

提示された課題文から情報を読みとり、論の展開・構成や主張を適切に把握するとともに、論理的に表現する力を確認します。

3. 今後の学習について

最初やるべきは、弱点となる科目がないように、中学校での学習内容全般をしっかりと確認することです。教科書の内容を理解した上で、さらに発展的な内容についても時間をかけて学習し、学力検査に臨んでください。

毎日学習することを習慣とし、大切にしてください。受検のために勉強するというのではなく、学習方法を含めて「自分の勉強法をつくりあげる」という気持ちで取り組んでください。自分なりに工夫し、試行錯誤を重ねて身につけた「習慣」や「勉強法」は、今後必ずあなたを支えます。

堀川高校生から中学生のみんなへ

このメッセージは2年生が4月に
中学校の先生に宛てて書いたものです。

1. 1年生での印象的な体験、出来事は？

- ・文化祭や海外研修、部活や探究活動、基本的にすべての出来事が印象に残っています。自分が「やりたい」と思ったことに積極的に参加できる環境にいるということが、とても幸せだと毎日感じて学校生活を送っています。
- ・球技大会、文化祭、体育祭などの行事が全て楽しかった。皆が生き生きとしていて、友達も面白いだけでなく、尊敬できる。
- ・文化祭での「本気で準備し、本気で楽しむ」姿勢を見て、勉強以外にも真剣に向き合う堀高生の底力を感じた。
- ・探究活動で大学院生が来てくださり、課題設定の的確なアドバイスをくれます。色々な知識も得られるし、とても楽しいです。また、堀川は部活が意外と強いので、邦楽部として広島での全国大会に行ったことも記憶に新しいです。
- ・自分が興味のある分野・事柄について深く取り組むことのできる探究活動は非常に印象的です。ただ単に知識を取り入れて考えるのではなく、「学問」を使った思考は大変ですが、身につくものは多いと思います。
- ・とにかく自主的な活動が多い！ 学校説明会にしても探究道場にしても、生徒スタッフの代表は本当に大変そう。でもその分、裏方の苦勞を知ることができます。
- ・学校説明会。生徒スタッフが100人規模で動く、とても大きな活動です。何十時間もかけて準備して臨んだ分、達成感は半端ではなかったです。
- ・校内の取り組みのスタッフのリーダーをした経験です。もちろん先生方にいろいろ教えてもらいながらではありましたが、自分でミーティングの内容やプリントの構成を考えるのは自分の成長につながったと思います。
- ・台湾で行われた「World Youth Summit 2017」に参加し、3日間ずっと英語で「海洋ゴミが地球環境に及ぼす影響」について台湾の高校生と議論した。英語力だけでなく、積極性やスピーチ力において自分を成長させることができた。
- ・周りの人のレベルが高い。中学の時は考えられなかったが、休み時間に友達と勉強するのが日常的。文化祭や体育祭で冷めている人がおらず、皆で一緒に頑張れます。

2. 海外研修を終えて

- ・人生で初めて日本から出ること、物事を見るとき視野が明らかに広がった。いろいろな視点を持つことが探究に生きると実感した。
- ・お互いがお互いを高めあい、英語力、コミュニケーション力、判断力や多くの経験を手に入れることができた。海外での9日間だけのものとならないよう、今後に生かしていく。
- ・アメリカのボストン、ワシントンを訪れました。ボストンで、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学を訪れて、私の視野は大きく広がりました。堀川で、京都で、日本で満足しては勿体無いと感じました。
- ・私はオーストラリアでのホームステイや語学学校での研修を通じて、現地で思い通りに物事が進まないたびに、私の英語力の無さを痛感し、とても悔しい思いをしました。しかしこの研修では挫けてる暇など全くなく、すべて自分でなんとかしなくてはならなかったため、強い向上心を持つことができました。
- ・自分が積極的になればなるほど、吸収できることが増え、楽しく充実したものになった。多民族国家であるマレーシアへ行ったことで、「国とは何か」という問題をじっくり考えるきっかけになった。文化から自然まで体験できて非常に良い経験となった。

3. 2年生の抱負は？

- ・去年は、部活動やスタッフ活動、委員会活動に打ち込んだり、勉強以外を充実させすぎてしまったので、去年の遅れを取り戻すために勉強を頑張りたいです。
- ・去年はあまり大学について知ることができなかったのも、自分から情報をつかんで、見て、感じたい。
- ・勉強と探究活動の両立です。「高校2年生は探究と勉強も両方頑張った！」と言える年にしたいです。
- ・部活でキャプテンとなったので、みんなを引っ張って結果を残す。
- ・今年は探究、学校説明会、海外への短期留学、文化祭、体育祭など、自分のしたいことをし続ける一年にします。そして、大学受験に向けて準備を進めていきます。
- ・「何かを残せる1年にしたい」と思っています。高校に入りたての1年生の時は、すごく忙しくていっぱいいっぱいだったので、今年は自分自身が成長できたと確かに感じられる目標を達成していきたいです。